
言語研究センター共同研究

中国語ホームドラマを題材とする 語気詞“呢”の研究と応用

研究代表者：加藤宏紀

中国語は文末の語気詞を用いて多様な意味を表現することができ、その使用頻度は高く、使用範囲も広い。また、中国語の教科書においても、そのレベルを問わず、語気詞を用いる文がしばしば現れる。使用頻度も実用性も高い語気詞ではあるが、研究においても教育においても、語気詞はその中心部分として扱われる傾向に乏しいのが現実である。

本研究グループでは教育と研究を結びつけなが

ら、語気詞“呢”に焦点を当て、この語気詞に関する研究の充実とその教育への応用を目的として、それぞれの研究を進めている。

現在は中国語のホームドラマ《家有儿女》から語気詞“呢”の使用場面を、映像とテキストの両面から収集している段階にある。データ収集後は、メンバーに提供し、それぞれの分野・視点から語気詞“呢”の分析をすすめる計画である。
